

HP OMi Management Pack for Infrastructure

ソフトウェアバージョン: 1.00

HP Operations Manager i (Linux および Windows® オペレーティングシステム)

リリースノート

ドキュメントリリース日: 2015 年 1 月

ソフトウェアリリース日: 2014 年 9 月



ご注意

保証

HP 製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載は、追加保証を提供するものではありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HP はいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピュータソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HP からの有効な使用許諾が必要です。商用コンピュータソフトウェア、コンピュータソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR12.211 および 12.212 の規定に従い、ベンダの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

著作権について

© Copyright 2014 - 2015 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標について

Adobe® は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標です。

Microsoft® および Windows® は、Microsoft グループの米国における登録商標です。

UNIX® は、The Open Group の登録商標です。

ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアバージョンの番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに更新されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

更新状況、およびご使用のドキュメントが最新版かどうかは、次のサイトで確認できます。<http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/manuals>

このサイトを利用するには、HP Passport への登録とサインインが必要です。HP Passport ID の登録は、次の Web サイトから行うことができます。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>

または、HP Passport のログインページの [\[New users - please register\]](#) リンクをクリックします。

適切な製品サポートサービスをお申し込みいただいたお客様は、更新版または最新版をご入手いただけます。詳細は、HP の営業担当にお問い合わせください。

サポート

HP ソフトウェアサポートオンライン Web サイトを参照してください。<http://www.hp.com/go/hpsupport>

このサイトでは、HP のお客様窓口のほか、HP ソフトウェアが提供する製品、サービス、およびサポートに関する詳細情報をご覧いただけます。

HP ソフトウェアオンラインではセルフソルブ機能を提供しています。お客様のビジネスを管理するのに必要な対話型の技術サポートツールに、素早く効率的にアクセスできます。HP ソフトウェアサポートの Web サイトでは、次のようなことができます。

- 関心のあるナレッジドキュメントの検索
- サポートケースの登録とエンハンスメント要求のトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HP サポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマーとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部のサポートを除き、サポートのご利用には、HP Passport ユーザーとしてご登録の上、サインインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。HP Passport ID を登録するには、次の Web サイトにアクセスしてください。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>

アクセスレベルの詳細については、次の Web サイトをご覧ください。

http://h20230.www2.hp.com/new_access_levels.jsp

HP Software Solutions Nowは、HPSW のソリューションと統合に関するポータル Web サイトです。このサイトでは、お客様のビジネスニーズを満たす HP 製品ソリューションを検索したり、HP 製品間の統合に関する詳細なリストや ITIL プロセスのリストを閲覧することができます。このサイトの URL は <http://h20230.www2.hp.com/sc/solutions/index.jsp> です。

目次

OMi MP for Infrastructure リリースノート	5
このリリースの新機能	5
インストールについて	7
既知の問題と回避策	8
制限事項	13
ドキュメントの更新情報	14
ローカライズとグローバライズ	15
ドキュメントのフィードバックを送信	17

OMi MP for Infrastructure リリースノート

HP Operations Manager i (Linux および Windows® オペレーティングシステム) 向け

ソフトウェアバージョン: 1.10

発行日: 2015 年 1 月

このドキュメントでは、HP OMi Management Pack for Infrastructure (OMi MP for Infrastructure) の変更内容の概要を示します。ここでは、マニュアルやオンラインヘルプに記載されていない重要事項についての情報を記載してまいります。このドキュメントの構成は次のとおりです。

[「このリリースの新機能」](#)

[「インストールについて」](#)

[「既知の問題と回避策」](#)

[「ドキュメントの更新情報」](#)

[「ローカライズとグローバライズ」](#)

サポート マトリックス

インストール要件および他の製品との互換性の詳細は、OMi Management Pack for Infrastructure サポート マトリックスを参照してください。サポート マトリックスはリリースごとに更新される場合がありますので、下記の HP ソフトウェア サポート オンライン Web サイトでのみ閲覧が可能です。

<http://support.openview.hp.com/selfsolve/document/KM323488>

このリリースの新機能

OMi MP for Infrastructure には次の新機能があります。

- **Debian プロセスの監視**

一般システム サービス可用性 アスペクトは、システム サービスとプロセスの可用性を監視します。このアスペクトでは、Debian オペレーティングシステム上で実行される Apache、Cron、Exim、Internet Service Daemon (inetd)、Named、Network File System (Nfs)、NetBIOS Message Block Daemon (Nmbd)、Samba、および Single Sided High Density (Sshd) プロセスを監視します。

Debian プロセス監視の詳細については、『OMi Management Pack for Infrastructure オンラインヘルプ』の「一般システム サービス可用性 アスペクト」の項を参照してください。

- **セキュリティの監視**

セキュリティの監視は、権限のないユーザがさまざまなユーザ名とパスワードの組み合わせを入力してシステムにログインするのを防ぐ場合に使用します。このようなリスクを把握し阻止するため、ユーザログインアスペクトにより、システム上で失敗したログインの試行回数と前回のログインをチェックします。

ユーザログインアスペクトの詳細については、『OMi Management Pack for Infrastructure オンラインヘルプ』の「ユーザログインアスペクト」を参照してください。

• ハードウェアの監視

サーバハードウェアフォールトアスペクトは、HP ProLiant サーバの状況とステータスを監視します。Systems Insight Manager (SIM) エージェントによって生成される SNMP (Simple Network Management Protocol) トラップを監視し、HP Operations Manager (HPOM) コンソールにアラートメッセージを送信します。

ハードウェア監視の詳細については、『OMi Management Pack for Infrastructure オンラインヘルプ』の「サーバハードウェアフォールトアスペクト」を参照してください。

• Oracle Solaris ゾーンの監視

Oracle Solaris ゾーンの監視には、仮想化環境でのゲストのリソースとパフォーマンス、ホストリソース使用率を監視するアスペクトが含まれています。

Oracle Solaris ゾーンの監視の詳細については、『OMi Management Pack for Infrastructure オンラインヘルプ』を参照してください。

• IBM Power 仮想化の監視

IBM Power 仮想化の監視には、仮想化環境でのゲストの可用性、フレームメモリとCPU使用率、およびゲストのパフォーマンスを監視する IBM Power のアスペクトが含まれています。

IBM Power 仮想化の監視の詳細については、『OMi Management Pack for Infrastructure オンラインヘルプ』の「IBM Power アスペクト」を参照してください。

• OMi MP for Infrastructure と Content Pack との統合リリース

このバージョンのには、インフラストラクチャコンテンツパックのコンポーネントが含まれています。管理テンプレート、アスペクト、ポリシーテンプレート、状況インジケータ (HI)、イベントタイプインジケータ (ETI)、トポロジベースのイベント関連 (TBEC) ルール、ツール、グラフテンプレートが1つのパッケージに収められています。

インジケータ (HI)、イベントタイプインジケータ (ETI)、関連ルール) を使用して、システムで発生しているイベントを分析および分類し、システムの状況を報告します。



Infrastructure Management Pack および Content Pack の詳細については、OMi Management Pack for Infrastructure オンラインヘルプの「OMi MP for Infrastructure のコンポーネント」のセクションを参照してください。

インストールについて

OMi MP for InfrastructureはOMi MP for Infrastructure DVD (MPDVD) のほか、電子メディア (e-media) でも提供されています。OMi MP for Infrastructure DVD と電子メディアには、ソフトウェアと製品ドキュメントが収録されています。MPDVD を使用して、OMi MP for Infrastructureを Windows または Linux の BSM サーバにインストールできます。

OMi MP for Infrastructure のインストールの詳細については、『OMi MP for Infrastructure インストールガイド』を参照してください。MPDVD および電子メディアは、英語および英語以外のロケール環境に対応しています。ロケール要件に基づき、適切なインストールメディアを使用できます。

次の表に、MPDVD と電子メディアに収録されているドキュメントの情報を記します。

ドキュメント	場所
インストールガイド	英語版はMPDVDと電子メディアの次の場所に収録されています。 <MPDVD>\DOCUMENTATION\en
オンラインヘルプ	BSM コンソールの [ヘルプ] メニューで利用できます。 BSM コンソールから、 [ヘルプ] > [BSM ヘルプ] > [Application Administration] > [Operations Management] > [OMi Management Pack for Infrastructure] に移動します。 OMi コンソールの  メニューから使用可能。 OMi コンソールから、  > [全般的なヘルプ] > [管理ガイド] > [管理パック] > [OMi Management Pack for Infrastructure] に移動します。
オンラインヘルプのPDF版	<MPDVD>\DOCUMENTATION\en
リリースノート	<MPDVD>\DOCUMENTATION\en

既知の問題と回避策

各不具合の参照番号は、変更要求 (QCCR) 番号です。不具合の詳細は、[HP ソフトウェア サポート オンライン](#)をご確認いただくか、HP サポートの担当者に直接お問い合わせください。

タイトル: BSM パッチ 9.25 をインストールした後、BSM ヘルプが表示されない。

説明: いずれかの OMi Management Pack をアップグレードする前にインストールした場合、または表に示すいずれかの Management Pack をアップグレード後に BSM 環境にインストールした場合、BSM ヘルプと OMi Management Pack ヘルプに互換性がないために BSM 9.25 ヘルプが表示されません。

回避策: この問題を解決するには、以下の手順を実行します。

1. 次の場所に移動します。

Windows の場合:

```
%TOPAZ_HOME%\AppServer\webapps\site.war\amdocs\eng\doc_lib\Subsystems
```

Linux の場合:

```
/opt/HP/BSM/installation/HPBsm925/src/AppServer/webapps/site.war/amdocs/eng/doc_lib/Subsystems
```

2. 既存の Management Pack フォルダのバックアップを取得します。このフォルダの名前は con0xy で、xy は 01 から 16 の間の番号です。以前のバージョンの BSM にロールバックする場合に、このバックアップした Management Pack が必要になります。

たとえば、OMi Management Pack for Hadoop をインストールした後に、Subsystems フォルダに con003 が表示されます。次の表に、特定の Management Pack で使用可能なドキュメント フォルダの名前を示します。

Management Pack	Subsystems で使用可能なドキュメント フォルダ
Apache Web Server	con016
Hadoop	con003
IBM WebSphere	con013
Infrastructure	con002
Microsoft Active Directory	con010
Microsoft Exchange Server	con012

Management Pack	Subsystems で使用可能なドキュメント フォルダ
Microsoft SQL Server	con005
Oracle データベース	con001
Oracle WebLogic	con009
SAP	con007
SAP HANA	con008
SAP Sybase ASE	con015
Vertica	con004

3. BSM インストール DVD の OMiMP フォルダから必要な con0xy.zip ファイルを temp フォルダにコピーします。
4. con0xy.zip を右クリックし、**[展開]** をクリックします。
5. 展開した con0xy フォルダを次の場所にコピーします。

Windows の場合：

```
%TOPAZ_HOME%\AppServer\webapps\site.war\amdocs\eng\doc_lib\Subsystems
```

Linux の場合：

```
/opt/HP/BSM/installation/HPBsm925/src/AppServer/webapps/site.war/amdocs/eng/doc_lib/Subsystems
```

注：以前のバージョンの BSM にロールバックする必要がある場合、バックアップ バージョンの con0xy フォルダを Subsystems フォルダにコピーします。

タイトル：アスペクトをデプロイするときに、ノードに属する FileSystem のインスタンスの識別が困難になる。(QCCR1A150953)

説明：複数の類似ノードまたはファイルシステムが検出された場合、FileSystem 構成アイテム (CI) タイプを区別することができません。

回避策：複数のノードの FileSystem CI を区別するには、次の手順を実行します。

1. **[管理]** > **[RTSM 管理]** > **[モデリング]** > **[CI タイプ マネージャ]** に移動します。
2. **[CI タイプ マネージャ]** ウィンドウで、**[CI タイプ]** ペインから **[管理対象オブジェクト]** > **[構成アイテム]** > **[インフラストラクチャ要素]** > **[ノード要素]** > **[ファイルシステム]** を選択します。
3. 右ペインで、**[標準設定ラベル]** タブをクリックします。

- CI タイプのラベル定義形式で、**user_label** を **mount_point|root_class** に追加します。

例: user_label|mount_point|root_class

- [保存]** をクリックします。

タイトル: プロセス監視ポリシーがデフォルトのメッセージ「xxx プロセスは実行されていません」とともに表示される (**QCCR1A172079**)。

説明: すべてのプロセス監視ポリシーがデフォルトのメッセージ「xxx プロセスは実行されていません」とともに表示されます。このメッセージは、プロセスの CPU 使用率/メモリ使用量が適合状態か違反状態にかかわらず表示されます。

回避策: エラーメッセージを解消するには、以下の手順を実行します。

- ポリシーテンプレートを開きます。

[管理] > **[オペレーション管理]** > **[監視]** > **[管理テンプレートおよびアспект]**

目的のポリシーテンプレートを選択します。

- ポリシー関連情報ウィンドウの **[標準設定]** タブに移動します。**[アクションの開始]** タブをクリックします。**[アクションの開始]** タブが開きます。

- [タイトル]** フィールドに記述されたテキストを次のテキストに置き換えます。

<\$SESSION(PROCESSNBRAVAILABLE)> 個のプロセス "<\$SESSION(PROCESSNAME)>" (パラメータ "<\$SESSION(PROCESSPARAMETERS)>" が実行中ではありません。予想:<\$SESSION(PROCESSMODE)><\$SESSION(PROCESSNBREXPECTED)> 個のプロセス。CPU 使用率:<\$SESSION(PROCESSCPUUSAGE)>、予想:<\$SESSION(PROCESSCPUMONMODE)> <\$SESSION(PROCESSCPUUSAGEEXPECTED)>。メモリ使用率:<\$SESSION(PROCESSMEMUSAGE)>、予想:<\$SESSION(PROCESSMEMMONMODE)> <\$SESSION(PROCESSMEMUSAGEEXPECTED)>。[ポリシー:<\$NAME>]

- [アクションの終了]** タブをクリックします。**[アクションの終了]** タブが開きます。

- [タイトル]** フィールドに記述されたテキストを次のテキストに置き換えます。

<\$SESSION(PROCESSNBRAVAILABLE)> 個のプロセス "<\$SESSION(PROCESSNAME)>" (パラメータ "<\$SESSION(PROCESSPARAMETERS)>") が実行です。CPU 使用率:<\$SESSION(PROCESSCPUUSAGE)>。メモリ使用率:<\$SESSION(PROCESSMEMUSAGE)>。[ポリシー:<\$NAME>]

- ポリシーを保存します。

タイトル: IBM Hardware Management Console (HMC) toposync が仮想インフラストラクチャ検出で検出された CI を設定しない (**QCCR1H90348**)。

説明: 仮想インフラストラクチャ検出で検出された CI のデータが IBM HMC toposync によって設定されません。

回避策: `product_name_enum` 列挙に製品名 `ibm_power_hypervisor` を追加する必要があります。製品名を追加するには、次の手順を実行します。

1. **[管理]** > **[RTSM 管理]** > **[CI タイプ マネージャ]** > **[CI タイプ]** > **[システム タイプ マネージャ]** に移動します。**[システム タイプ マネージャ]** ダイアログボックスが表示されます。
2. `product_name_enum` をダブルクリックし、**[適用]** をクリックします。更新リスト定義が表示されます。
3. `ibm_power_hypervisor` をリストに追加して、**[OK]** をクリックします。

タイトル: Operations Agent 11.13 が Red Hat High Availability アドオン 6.3 (RedHat クラスタスイート) を検出できない (**QCCR1A169126**)。

説明: Operations Agent が RHAS (Red Hat Advanced Server) クラスタ環境を検出しません。
`ovclusterinfo -a` コマンドを実行すると、エラーメッセージが表示されます。

回避策: RHAS クラスタ環境の HP Operations Agent 11.13.007 にホットフィックス **QCCR1A169126** を適用します。

タイトル: Debian ノードでシステム インフラストラクチャ検出が失敗する。

説明: Debian ノードでシステム インフラストラクチャ検出が失敗します。

回避策: 対応ノードに関連する CI を監視するには、BSM サーバで以下の手順を実行します。

1. **Linux_DEB** という名前のフォルダを BSM サーバの次の場所に作成します。

Linux の場合:

```
/var/opt/OV/shared/server/tmp/deployment/instrumentation/SystemsInfrastructure/  
Unix
```

Windows の場合:

```
%OvDataDir%\shared\server\tmp\deployment\instrumentation\SystemsInfrastructure\  
Unix
```

注: BSM サーバ上で上記のフォルダが使用できない場合、最初に **システム インフラストラクチャ検出** を Debian 以外のノードにデプロイしてから、手順を進めます。

2. `GetLogfileName.sh` および `ispi-ovperl` ファイルを Linux フォルダから **Linux_DEB** フォルダにコピーします。

Linux の場合: `cp Linux/* Linux_DEB/`

Windows の場合: `copy Linux* Linux_DEB\`

3. **システム インフラストラクチャ検出** アスペクトをノードにデプロイします。
4. Debian ノードの下記の場所にファイルが存在するかどうか確認します。

```
/var/opt/OV/bin/instrumentation
```

システム インフラストラクチャ検出の実行が正常であれば、対応ノードに関連するすべてのCIがランタイム サービス モデル (RTSM) に表示されます。

制限事項

- 上位のリソースプールの Universally Unique Identifier (UUID) の取得に失敗したことが原因で、ネストされたリソースプールが検出されない場合があります。詳細については、**QCCR1A162251** を参照してください。

ドキュメントの更新情報

このドキュメントの最初のページには、以下の情報が記載されています。

- このソフトウェアのバージョン番号
- ソフトウェアリリース日

更新状況の確認や、ご使用のドキュメントが最新版かどうかの確認には、[HP ソフトウェア製品 マニュアル Web サイト](#)をご利用ください。

ドキュメントを入手するには、以下を選択します。

1. **製品名**
2. **製品バージョンリスト**
3. **オペレーティングシステム**
4. **使用する言語**
5. **表題**
6. **[開く] または [ダウンロード]** をクリックします。

PDF 形式のファイル(*.pdf)を表示するには、Adobe® Reader をインストールしておく必要があります。
Adobe Reader をダウンロードするには、[Adobe](#) の Web サイトにアクセスしてください。

ローカライズとグローバリゼーション

ローカライズとは、特定の地域の市場またはロケールに合うようにソフトウェアアプリケーションを適応させるプロセスを指します。グローバリゼーションとは、グローバル市場向けに製品またはサービスを設計して、わずかな修正だけで世界中に販売できるようにするプロセスのことです。

HP は、次の言語でローカライズされた OMi MP for Infrastructure ソフトウェアを提供しています。

- 英語
- 日本語
- フランス語
- スペイン語
- 簡体字中国語
- 韓国語
- オランダ語
- ロシア語

HP は、次の言語でローカライズされた OMi MP for Infrastructure ドキュメントを提供しています。

- 英語
- 日本語
- 簡体字中国語

ドキュメントのフィードバックを送信

本ドキュメントについてのご意見、ご感想については、電子メールでドキュメント制作チームまでご連絡ください。このシステムで電子メールクライアントが設定されていれば、このリンクをクリックすることで、以下の情報が件名に記入された電子メールウィンドウが開きます。

Feedback on リリースノート (OMi Management Pack for Infrastructure 1.00)

本文にご意見、ご感想を記入の上、[送信]をクリックしてください。

電子メールクライアントが利用できない場合は、上記の情報をコピーして Web メールクライアントの新規メッセージに貼り付け、docfeedback@hp.com宛にお送りください。

お客様からのご意見、ご感想をお待ちしています。